

令和5年8月号

アルベルト・ブルトン司教帰天記念日墓参式

聖テレジア会の創立者アルベルト・ブルトン司教は、1954年(昭和29年)8月12日に帰天されました。(帰天とは、カトリック教会で信徒が死去することを意味します)毎年この日には、各施設から施設長、事務部長が集まり、皆で祈りを捧げています。過去2年(令和3年および令和4年)の間、新型コロナウイルス感染症の影響により献花式と祈りのみの内容としていましたが、本年は3年ぶりに聖ヨゼフ病院を含め鎌倉3施設の幹部職員が集まり、墓前で祈ることができました。また、七里ガ浜修道院のシスター方もいらしていただき、潮風に吹かれる中、共に祈りを捧げました。帰天されてから70年を一年後に控え、創立者が大切にしていた福音書の1節への想いを新たにしました。

